

新宮山彦ぐるーぷ第2048回

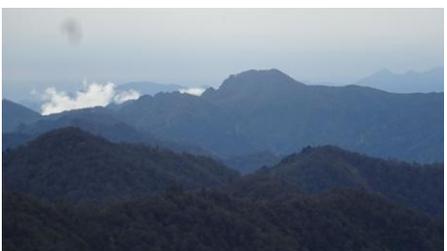
深仙宿避難小屋の外壁トタン塗装

◇実施日；2019年10月20日（日） 晴時々曇り

◇参加者…上村洋司、梶野照雄 （2名）

8月に深仙小屋の西側外壁をペンキ塗りしたが、今回はその第2回目である。新宮で18日に降った豪雨のため、参加予定だった沖崎さん達が不参加となり、2名で実施することになった。

登山口までの林道で豊嶋さんとバツタリ出会う。孔雀岳まで行く予定だそうだ。



豊嶋さんとバツタリ

笠捨山

千丈平手前の倒木

8時半に上村さんが到着、塗料（1.6kg）3缶をザックに、私がシンナー4リッターと道具類を担いで登り始める。20分ほどで

折れた枝が道を塞いでいた。チェーンソーは車に残してきたので、下山後に処理することにして先を急ぐ。いつものように休憩して千丈平に到着。千丈平付近に倒木が2本あり、一本は枝が道を塞いでいたので、上村さんがノコで切除した。



千丈平の折れた倒木

枝先をノコで切除 紅葉の始まったゴヨウツツジ

深仙宿までの捲き道は、先日の笹刈りで歩きやすくなっているが、濡れた岩や木の根が良く滑り、何度か足を滑らせてしまった。

深仙宿に到着、7〜8人の登山者が休憩していた。デポしていた道具をお堂から出して先に昼食を摂る。

食後すぐに作業を始めた。窓にマスキングをして、壁際の石や枝を取り除く。今回、シンナーを十分に用意したので、ローラー担当の上村さんは塗りやすい濃度に薄めながら快調に塗っている。

私は、ローラーが届かない部分を刷毛で塗っていたが、屋根の庇が障害となって梯子では手が届かない。脚立でやってみたが足元が平たんではないので、不安定で上に立つことができなかった。



西行の歌碑が倒れていた



塗装の準備



ローラーは快調



短い梯子を作る



塗装完了



本日の参加者

小屋の梁上にあつた角材を数本降ろして、短い梯子を作り、なんとか塗ることができた。しかし、体が壁に近いため、たれ落ちた塗料があちこちに付いて、両手の指先が真っ青になってしまった。次回

は離れて塗る方法を考えたい。

一時間弱で塗装作業終了。日没の時間が早くなったのと、参加者少数のため、今回の作業は北側の外壁を塗装するだけにとどめた。残りのシンナーや塗料などを再びお堂にデポ。窓のマスキングを外して、使用済みのローラーや刷毛と一緒に焼却した。小屋前で休憩していた登山者にシャッターを押して頂き、証拠写真を撮って深仙宿を離れた。帰路、古田の森の北側で登山道に突き出た倒木の先端部分を切除、午後3時45分に登山口に戻った。



古田の森北側で

一旦下山

チェーンソーを持って切除

上村さんに先に帰宅していただき、チェーンソーを持って再び登ります。倒木現場の手前で降りてきた豊嶋さんと出会った。2人で登ったはずだが、4人で降りてきていた。2人は関東の人で、本宮まで行く途中だが、翌21日の降雨予報で後半の行程を中止、豊嶋さんが十津川温泉まで送って行かた。

倒木は直径10cmほどの物で、5分少々で処理完了。ここから登山口までの間で、斜木を含む障害木を5分切除した。(記；梶野)

行動タイム

登山口 08：40→10：50 千丈平→11：20 深仙宿 13：30→15：45 登山口
山口 16：00→16：22 倒木現場→17：01 登山口